

ワークショップ13	
タイトル	ワクチン・アップデート ～なぜ必要かきちんと説明できますか?～
日時	6月13日(土) 13:50-15:50
企画責任者	坂西 雄太 (委員会企画: ワクチンワーキンググループ)
定員	48名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>【背景】 わが国のワクチン診療・行政は改善の途上にある。日本プライマリ・ケア連合学会ワクチンプロジェクトチームが2012年に実施した調査では、プライマリ・ケア(PC)医のワクチンに対する認識や態度はばらつきがあり、必ずしも一致していないことが明らかとなった。</p> <p>【目的】 PC医療従事者(医学生を含む)を対象に、ワクチンに関する基本的かつ最新の知識を提供する。それにより各自が明日からのワクチン診療をより向上させ、患者や地域住民にワクチンの必要性について根拠をもって説明できるようになることを目標とする。</p> <p>【概要】</p> <p>【方法】 国内で使用できるワクチン、とくに任意接種ワクチン(成人に対する麻疹風しん、ムンプス、B型肝炎ワクチン)や2014年10月より定期接種化された水痘ワクチン、高齢者に対する肺炎球菌ワクチンを中心に各ワクチンに関する最新のエビデンス(ワクチンの効果、安全性など)および接種スケジュールなどワクチンプラクティスに関する情報を提供する。2012年～2013年にかけて流行した風疹についても総括し、またHPVワクチン(いわゆる子宮頸がん予防ワクチン)の現状についても確認する。ショートレクチャーとともに適宜、参加者同士のグループディスカッションやロールプレイなどを行い、各ワクチンがなぜ必要かについての理解を深めるとともに確かなワクチンプラクティスの実践をサポートする。</p> <p>講師・ファシリテーター・司会(いずれも本学会ワクチンプロジェクトチームのメンバー) 守屋章成: 医療法人メファ仁愛会 マイファミリークリニック蒲郡/ 医療法人健友会 やまと診療所 中山久仁子: 医療法人メファ仁愛会マイファミリークリニック蒲郡 菅長麗依: 医療法人鉄蕉会 亀田ファミリークリニック館山 坂西雄太: 佐賀大学医学部地域医療支援学講座、京都大学大学院社会健康医学系専攻専門職学位課程 ほか</p>	